

はじめに

2019年、4月に統一地方選挙、7月に参議院選挙がありました。参議院選挙に向けて中央で立憲野党勢力は、市民連合と連帯して13項目の政策協定を結び全国32のすべての1人区で統一候補を立て、10の選挙区で勝利しました。結果、自公維の改憲勢力は3分の2を割り、改憲の動きに大きな痛打を与えました。

しかし、この選挙結果を受けても、安倍政権は憲法9条を変える事に執念を持っており、10月の消費税増税も強行しました。戦争する国づくりをまっしぐらに推し進めようとしており、立憲野党勢力と最も対立しているところです。

2015年9月19日の戦争法強行採決以来、立憲野党勢力は市民連合と連帯して選挙での野党統一候補を追求し、その実績、経験を豊かにしてきています。次の衆院選に向けての野党共闘の取り組みが踏み出されています。

広島県は選挙での野党共闘の実績・経験が遅れており、早急に大きな取り組みが求められています。広島3区市民連合は野党共闘を求めて取り組みを進めてきましたが、大きく県内全体をおおう市民連合の結成が必要です。

1. 1年間の3区市民連合の活動

昨年の9月24日（月休）、3区市民連合は108人の参加の中第2回総会を行いました。以後の活動を、2つの分野から見ていきます。

要求実現に向けての活動

安倍9条改憲の動きに対して、全国の憲法9条を守る運動に連帯して新年度の取り組みを始めました。その軸になったのが軍隊を持たない国、「コスタリカの奇跡」の上映会です。

2018年

- ・11月4日（日）「コスタリカの奇跡」上映会於口田公民館70人 高陽9条の会
- ・12月1日（土）ピースパレードin緑井100人余
- ・12月8日（土）「コスタリカの奇跡」上映会於千代田会場140人余

2019年

- ・2月10日（日）「コスタリカの奇跡」上映会於佐東会場135人
- ・3月2日（日）ピースパレードin緑井80人
- ・6月19日（水）「コスタリカの奇跡」上映会於広島市立大学会場21人
- ・7月18日（木）「コスタリカの奇跡」上映会於高取・長楽寺（以後高長）会場25人

※毎月の定例「3,000万署名&アピール行動」9日・19日（天満屋）第2火曜（高陽）

千代田会場は、現地実行委員会を独自性を持った組織として立ち上げ、安芸太田町・北広島町・安芸高田市の3地域の力を結集して行いました。佐東会場は、市民連合幹事会が主催して行い安佐北区・安佐南区の住民に参加を呼びかけました。広島市立大学会場は、現役の大学院生が企画運営して、若い大学生に参加を呼びかけました。高長会場は、地域の高長市民連合が主催して地域の住民に参加を呼びかけました。

主催の形態、地域、年齢層等において多様性のある取り組みとなりました。また、全会場で視聴後意見交換の時間を設け、認識を深めあう事ができました。

街頭行動を、ストップ！戦争する国づくり安佐地区市民アクション実行委員会・9条の会と共同して、ピースパレード in 緑井を2回行いました。又、定例的に天満屋署名行動を9日・19日、高陽街頭スタンディングを第2火曜に行って来ました。天満屋署名行動は、参加者延べ212人、署名数合計1,004筆です。

野党共闘推進に向けての活動

2018年

- ・9月24日（月休）市民連合第2回総会・・・5野党の連帯挨拶 ※5野党（国民民主・社会民主・新社会・自由・日本共産）

2019年

- ・1月27日（日）「市民の願いにこたえる広島市長を誕生させるつどい」203人
- ・2月23日（土）「市長を誕生させるつどい」於安佐北区・安佐南区
- ・3月24日（日）市長選告示、29日（金）市議選告示、4月7日（日）投票
- ・5月17日（金）4野党訪問 ※4野党（国民民主・社会民主・新社会・日本共産）
- ・5月31日（金）野党共闘を進める懇談会・・・5野党7人、市民連合12人参加 ※5野党（国民民主・社会民主・新社会・日本共産・立憲民主）
- ・6月14日（金）2野党訪問 ※2野党（国民民主・日本共産）
- ・6月下旬 参院選広島選挙区野党2候補と政策協定締結 ※2候補（森本真治・高見あつみ）
- ・7月1日（月）参院選に向け声明書発表
- ・7月4日（木）参院選公示、21日（日）投票

2019年は、4月に統一地方選（市町村議員選挙、県会議員選挙、広島市長選挙）、7月に参議院選挙がありました。広島市議会議員選挙にどうかかわりができるか論議を始めましたが、具体化に至りませんでした。広島市長選挙は、「市民の願いにこたえる広島市長を誕生させる会」が結成され、その趣旨に賛同して協力していく事にしました。2月23日（土）に安佐北区・安佐南区の2会場で集いを持ちましたが、幅広い勢力の大きな共同に運動を進めていく事が困難でした。

参議院選挙は、選挙区において自民党が2議席独占を狙ってきた中、多くの市民の中に危機感が生まれ、「野党候補の統一」の声が広がりました。市民連合幹事会でもこの課題を何度も論議し「野党候補の統一」を柱として、野党訪問そして画期的な5月31日（金）の「野党共闘を進める懇談会」（5野党7人）を行う事ができました。この場での論議で、野党共闘を進めていく土台の認識は一致しつつも、「共産党は複数区では、野党は競い合って自公政権を追いつめる」との見解を主張され、統一の具体化への進展はできませんでした。これを受けて、市民連合としては「野党候補の統一はつらぬきつつも、協力関係のスタートは候補者と市民連合との政策協定にある」との考えから、野党2候補者に政策協定を求めました。2候補者共に政策協定に応じていただけました。そして、7月1日、「広島県民に対しこの参議院選挙において立憲主義を守ろうとする野党候補に少なくとも一議席は確保させるよう強く求めます。そのためにも、野党は協力して統一候補を立てて選挙戦に臨むよう求めるものです。」と、声明文を発して選挙を迎えました。

選挙の結果は、森本真治候補が329,792票を得てトップでの当選でした。これは、2候補の健闘と陣営の渾身の努力とともに、「自民の独占は許せない。野党候補の一議席確保を！」という大きな民意の広がりがもたらしたものと思われまます。選挙後、2候補には当選のお祝いと健闘の謝辞、そして今後の公約実現のお願いの文書を送りました。自民2議席独占が阻止できたこととともに、今後の衆院選に於ける県民の野党に対する期待の広がりを予想できるものとなりました。

2. 新年度方針

市民連合の目的は、本格的な野党共闘実現を要求し後押しして選挙での野党統一候補勝利を成して政治を大きく変えることです。私たちの要求の柱は会則（別紙）にまとめています。

野党共闘は政治を大きく変える私達の希望です。だからこそ、私たち市民が野党共闘の意義を深く理解し、野党に働きかけ、共に信頼を築いていく事が重要です。

安倍政権に代わる国民の期待の受け皿を野党連合政権として示すことが求められます。広島県下7選挙区に野党統一候補を実現するには、県下に大きく市民連合を結成することが重要です。

新年度、次の様な方針を柱に歩んで行きます。以下、3つの柱立てをして提案します。

野党共闘推進に向けての活動

このことにおいて、野党を力強く後押しする市民の県内の組織ができていないことを痛感します。今後早急に取り組まないといけないことがこのことがらです。

【市民の県内の組織をつくる方針】

- ① 「市民の県内の組織」をつくる呼びかけを県内の個人とあらゆる民主団体、労働組合に発信するよう働きかけます。
- ② 「市民の県内の組織」は、県内衆院選7選挙区ごとに立ち上がりその組織の連合協議体と想定します。
- ③ 「市民の県内の組織」は、「安倍暴走政治ストップ！野党は共闘！」を大きな一致点とし、結集します。不一致点は保留にし、大きな一致点で結集し協力し合います。
- ④ 最初に具体的な共通政策（要求）を協議し策定して、行動の指針にします。
- ⑤ 組織の進め方を協議し策定して、行動を進めます。
- ⑥ 当面、次期衆院選での県内7小選挙区すべての野党統一候補と本格的な野党共闘が実現できるよう、野党への働きかけと後押しに最大の努力をします。
- ⑦ 広島3区市民連合は、衆院選7選挙区ごとの「市民の組織」が出来るよう大いに協力します。そして、広島3区内での活動を進めていきます。また、「市民の県内の組織」がつくられていくことと並行して、野党へ衆院選での共闘の働きかけを積極的に推し進めていきます。

要求実現に向けての活動

市民連合は、会則にある5項目の基本的な要求を持っています。要求実現活動を推進する事で様々な思いを持っている方との共同を進め、出会いを広げお互いに連帯感を持ち政治的に成長し合います。

5項目の要求

- ①立憲主義回復、戦争する国づくりストップ、安倍政権下での改憲反対。
- ②核兵器廃絶をめざし、核兵器禁止条約の批准を実現する。原発から自然エネルギーへの転換を進める。
- ③国民の暮らしを大切にす政治をめざし、社会保障の充実を求める。
- ④働き方の改善をめざし、勤労者の生活を豊かにする。
- ⑤自営業者・農林漁業者の営業を守り、地域の継続・発展を保障する政治を求める。

これからも、情勢に対応して要求実現の活動を行う事が、新たな人との出会いを作りだし政治革新の力を地域に作り出す上で必要です。

幹事会で論議し、課題を明確にし活動を進めていきます。

地域の要求に沿った活動を進めます。

高長市民連合の積極的で継続的な集いの実施はとても重要です。参加者の主体性を保障し、お互いに学び合える場合は、地域の集いでこそ最も作りだせます。

若者と連帯した活動を起こすことにも、特に重視して取り組みます。

組織活動について

市民連合の目的を実現するため組織活動を行っています。組織活動の現状と課題を見ていきます。

①現状

【構成】

- ・市民連合の目的に賛同する個人を基礎に、賛同する団体も可能です。

会員到達は、2019年8月26日で533人、4団体です。18年度新規加入55人、会費納入は250人、呼びかけ人188人・賛同人345人です。

団体は、4団体（安佐南生活と健康を守る会、安佐南年金者組合、広島北民商、広島北生活と健康を守る会）です。

【役員&役員会】

- ・役員会は、市民連合の日常の活動推進にとってとても重要です。毎月1回の定例会議を行っています。幹事会が23人、事務局会が6人で構成しています。代表幹事・事務局長を設けます。情勢と課題に対応して臨時会議を持ちます。2017年衆院選時3回の臨時幹事会、1回の臨時事務局会、2019年参院選時4回の臨時事務局会、総会時1回の臨時事務局会を持ちました。

【総会】

- ・総会は、年1回開きます。市民連合にとって最も重要な会議です。多くの会員の参加を実現して、多様な意見を求め、方針の一致を図ります。

【通信&発信活動】

- ・ブログ（佐藤）、ホームページ（坂本）、会通信（曾川）を行っています。

【財政】

- ・会員は、年毎に年会費（賛同募金一口200円）を納めます。

②課題

- ・総会が最も重要な会議という認識に立って、全会員に案内ハガキを届ける。
- ・通信の発行、届けが定例化していない現状を改善して、年3回の発行、届けをめざす。
- ・役員会は、市民連合の推進軸、多様な意見の統一化としてとても重要です。現在の役員は再任を求めて、事務局を+1人の7人とし、幹事会を+3人の26人とする。
- ・通信を届ける、会費を集める事を大切な活動として捉え、行う。
- ・会員（仲間）を増やす事を、日常的に意識して声かけし、行事の際には特に意識的に行う。